

染色の手順

〔記載は染料 1 リットル分の場合の材料〕 ※研修室の体験では、10人分の染料を作ります。



1. 染料づくり

乾燥させた狭山茶の茶葉とセスキを鍋へ入れ、75℃のお湯を流し込みます。約20分間ぐつぐつと、お茶の葉の色素を煮出します。煮出し中は、ほうじ茶を甘くしたような良い香りがします。煮終わったら布等で漉して45度くらいまで冷まします。

〔材料〕

- 秋口に刈り取った、茶葉
..... 約30g
- セスキ※
..... 約2g
- お湯
..... 約1.1リットル

※セスキ：水に溶かすと油污れの掃除に使える、「セスキ炭酸ソーダ」のことです。

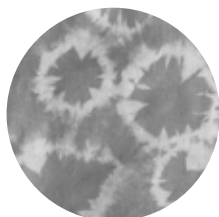


2. 染めたいものの準備

染料を冷ましている間に、染めたい素材を準備します。ビー玉・ヒモ・輪ゴムなどで、しばったりくくったりして模様をデザインします。ギュッと圧がかかった部分は染料が届きにくいので、素材そのものの色味が残ります。

〔材料〕

- 染めたい布素材
..... 適宜
- ビー玉やヒモ、輪ゴムなど
..... 適宜



きつく結ぶとくっきり
ゆるく結ぶとふんわりと
模様が出ます。

好きなものを使って
自由にデザインしてみてね！

ビー玉と輪ゴムを使うと
こんな感じで染まるよ。

牛乳でできる、かんたんカチオン化



綿や麻は「植物性繊維」で、緑茶の染料が付きにくいので、カチオン化しておく事をおすすめです。
蛍光増白剤や柔軟剤が入っていない中性洗剤で、染めたい素材を洗って良くすすいで干した後、牛乳を10倍にうすめた液に、1時間ほどひたします。ひたしおえたらすすがずに軽くしぼって乾かします。
これで、素材の表面がカチオン化され、染まりやすくなります。

※絹やウールなどの「動物性繊維」はカチオン化しなくても比較的染まりやすいです。



3. 染色

手に色が付いたり荒れたりしてしまわないように、ビニール手袋かゴム手袋をしましょう。(こちらで準備いたします)

染めたい素材を染料につけこみます。染料が行き渡るように、素材全体を軽くもみます。1〜2分つけこんだらしばらく、今度はミョウバン液に1分ほどひたします。その後、またしばらく、染料へ1〜2分つけこみ、最後に輪ゴム等を取り、ぬるま湯ですすぎます。

〔材料〕

- 作った染料
..... 約1リットル
- ミョウバン
..... 約5g
- ミョウバン液用のお湯(ぬるま湯)
..... 約1リットル
- すすぐ時用のお湯(ぬるま湯)
..... 約3リットル

※ミョウバンはお湯に溶かしておきます。

染料に1〜2分



長めにつけると濃くなるよ
ゆっくり動かしたり、
軽くもむとムラなく染まるよ

ミョウバン液に1分



ミョウバン液で「色止め」をするよ
この作業で、
洗っても色落ちしにくくなるんだ

染料に1〜2分



このつけこみで、
またうっすら色が付くよ



輪ゴムやヒモ等をはずしながら、
すすいでしぼります。
綺麗にアイロンをかけて完成！

※染めてから数回は色落ちする可能性があります。他の洗濯物と分けて洗いましょう。